

## 教室だより

### 近世史クラス

現在、近世史クラスは、一年生四名、二年生五名、三年生四名、四年生六名、計十九名という小所帯です。

今年度、我クラスでは、四日市で起こった助郷一揆に関する古文書を解説するというゼミ活動を二・三年生を中心に一年生も交えて行ってきました。古文書と本格的に取り組むのは、全員はじめてとあって、つまづくことも多く、分からない部分もありました。その際には、稲本紀昭先生、仲見秀雄先生に大変お世話になりました。

現在、一・二年生は、「中世・近世の交通」に関するゼミを週一回行っております。

これからは、歴史教育研究大会に向けて、「ふびと」に掲載しました拙稿を中心に、一・二年生で行っているゼミの内容なども加えてまとめていきたいと思っております。

### 東洋史クラス

現在東洋史クラスは、始まって以来の重要な時期を迎えています。

北村先生が英国へ留学され、非常に不利な立場に置かれながらも、我々は翔こうとしています。クラスの団結がより強固となってきた今、最大の困難である学習面の問題も克服しようとしています。自主的な中国語学習、研究発表会、その他の活動によってその進歩向上に励むと

同時に、東洋史の新しい伝統を生みだすべくファイトで毎日を送っているのです。みなさん！我々のたくましい姿を見て下さい。

野球をするもの、少林寺拳法をする者、ブラスバンド部員、卓球をする者、歌をうたう者、など様々な人間の集まる我がクラスは、東洋史を学習するという点で一致し、そのたくましさではどのクラスにも負けることはないでしょう。また、歴史クラスに新風をまき起こすことができるのも我がクラスを除き他にはないでしょう。心配はいりません。我々はこの一年間で立派に成長する姿を見てもらうことができるでしょう。

### 西洋史クラス

我が西洋史クラスは、現在アメリカ班、ドイツ班、イギリス班の三つに分かれており、それぞれ研究活動を行なっておりますが、今年は豊永先生のドイツ留学の件もあって、いささか活動が停滞気味の一年であったように思います。便宜上、三班に分かれてはおりますが、互いに切り離しては考えることのできないものですので、共同研究発表会等を極力設けるようにし、「世界的視野に立った研究ができるようにしよう」「大きく、そして細やかに研究をしてゆきたい」と一同が心より切望しております。

現在、アメリカ班を除いては御指導下さる先生が近くにおられない為、我々は心を痛めております。皆様の暖い御指導を仰げれば幸いです。

## 古代史クラス

今年度古代史クラスは、従来からの考古学という研究課題とは別に、律令期における農民の生活とその抗争というテーマで、ゼミ活動を行ってきました。このように考古学以外の学問領域にまで研究領域を広げたことは、今後のクラス活動にとって大きな意味を持つものと思います。

又、従来からの考古学活動としては、夏には、一ヶ月以上の合宿をくんで、熊野の津ノ森遺跡と青山町の塚原古墳の発掘を行い、現地説明会やスライド会を催すなどして、地域の人々に埋蔵文化財保護の訴えも行いました。そして、この秋からは上野の車塚の測量を始めました。この古墳は、形態上最古の形態を示しその地域の古代の歴史を知る上で、きわめて重要な意味を持つと考えられます。

我々古代史クラスは、毎日毎日いそがしくはありますが、とても充実した日々をおくっております。今後もがんばって、この研究活動を続けてゆきたいと思えます。